

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 6 月 7 日(2023.6.7)

【公開番号】特開 2021-186301(P2021-186301A)  
【公開日】令和 3 年 12 月 13 日(2021.12.13)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-060  
【出願番号】特願 2020-95152(P2020-95152)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 B

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 30 日(2023.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が進入した場合に所定の特典が付与される所定の入賞領域と、

該入賞領域へ遊技球を誘導可能に設けられた可動部材であって、前記入賞領域への遊技球の進入を規制する進入規制姿勢と、前記入賞領域への遊技球の進入を許容する進入許容姿勢とを切替可能な可動部材と、

所定の作動条件が成立した場合に前記可動部材を前記進入規制姿勢から前記進入許容姿勢に切り替えた後に前記進入規制姿勢へ復帰する姿勢切替制御を少なくとも実行する遊技状態制御手段と、を備え

30

前記遊技状態制御手段は、前記姿勢切替制御として、前記可動部材が前記進入許容姿勢とされる時間長さが所定の第 1 の時間長さに設定された第 1 の切替パターンと、前記可動部材が前記進入許容姿勢とされる時間長さが前記第 1 の時間長さより長い第 2 の時間長さに設定された第 2 の切替パターンとによる制御を少なくとも実行し、

前記可動部材は、前記進入許容姿勢である場合に遊技球を前記入賞領域へ誘導可能な第 1 通路を形成し、前記進入規制姿勢である場合には当該進入規制姿勢となる前に前記第 1 通路へ進入した遊技球を前記入賞領域のない側へ誘導可能な第 2 通路を形成するよう構成され、

前記第 1 の時間長さは、前記第 1 の切替パターンで前記姿勢切替制御が実行される場合に、前記第 1 通路へ進入した遊技球が前記第 2 通路を進行する時間長さとされ、

40

前記第 2 の時間長さは、前記第 2 の切替パターンで前記姿勢切替制御が実行される場合に、前記第 1 通路へ進入した遊技球が前記第 1 通路を進行して前記入賞領域へ進入可能な時間長さとされていることを特徴とする遊技機。